

## 住まい事始め 「廊下は、いる、いない！」

### 「その2ー今どきの廊下は、」

廊下の必要性についてインターネットで検索、次のような意見がみうけられました。

- ①廊下のスペースがもったいない。部屋、収納 でもないし、通るだけ・・・
- ②廊下はいらない・・・という 条件を出して設計
- ③キッチンが丸見えになるのがイヤなので廊下を
- ④1階、2階ともに廊下があります。でも短い
- ⑤築年数経っても快適に暮らせる家として、「廊下のない家」を
- ⑥廊下って楽しい、「子供のころよく遊んだでしょ？」と・・・
- ⑦廊下を無くすとリビングなどが通り道になる
- ⑧廊下がなければ費用も安く済む
- ⑨風通しはとても良い
- ⑩廊下がない方が、姿がみえていだけで落ち着くものですし、安心もし  
などがあり様々な見方考え方あります

。



では、廊下の有無の考え方は、

●廊下の必要性の有無は、その家の生活状況や機能面から判断することで頭から無駄なスペースと考えることはなく臨機応変に対応しケースバイケースでいろいろな工夫を試み住宅の設計内容を高めるようにしてゆきましょう。

●延べ面積との関係からで30坪位で廊下ありのプランでは割合が多くなりますので、例えばリビングに廊下の面積をまとめてスペースを広くすることが良いでしょう。ただ、上記の意見のように通り道になり落ち着かない場合は、家具などで廊下代わりの通路を確保する方法もあります。

・2階などの個室がまとまる場所は、廊下が必要になってきますので個室や階段の組み合わせ方で廊下の長さを短くなるよう考える必要があります。

●ただ単に廊下だけの通路ではなく、そのスペースを有効利用の方法を考えるのも良いでしょう。例えば、収納、本棚、絵画を掛ける壁に、少し廊下の幅を広げて上記のように子供の遊び場に、ホビーや書斎コーナー、サンルームなどに。

・車椅子利用の住宅では、廊下の有効幅は広く取るように90cm以上は必要かと思えます。

●⑤のように、現在の家族状況での生活スタイルにだけこだわることなく将来のことも見据えたプランを検討しすることも重要です。